



奥野りん子

無所属 市議7期



1961 年生まれ/ 沖縄県出身/ 中央大学進学により日野市民となる/
特技は口笛と洋裁/ 趣味/花育て/ 1998 年日野市議会議員当選/ 7 期

ごあいさつ

市議会議員になって、二十八年が経ちました。

三十六歳の時、子ども5人を抱えて初当選！

よく市民から聞かれたのが、左記の質問です。

避妊・中絶ができなかったの？

「いえ、3か月から保育園に入れるよう、12月生まれが3人もいます。計画的に産みました。」

当時、私も公立保育園の「ゼロ歳児の定員拡大」の署名活動に取り組みましたが、日野市がその要求に応えてくれた事により、東京に身寄りのない私でも、五人の子を産み育てる事が出来ました。

これからも、保育の質の担保や、安心して結婚や出産、子育てができる環境を整備して参ります。

非正規なのに、育てる自信はあったの？

「はい。子どもは社会の宝なので、社会にも育ててもらおうつもりでした。」見栄など無いので、その言葉通り、三人目の子は、出産扶助を申請し、市から里帰り出産の交通費を支給して頂きました。

子どもたちには、大学で学びたい時に親が落選していた場合は、働きながら夜間部で学ぼう、言い聞かせてきましたが、今では、三人が医者に、一人が教師になり、社会のために尽力しています。

「女のくせに！」…バッシングの嵐！

議員になってみたら、男性議員からのヤジで、自分の発言が聞こえないほどでした。女性蔑視と戦い続けているうちに、遅くなった気がします。

今や、怖いものはありません。社会の理不尽から、あなたを守るために、全力を尽くします。

あなたの願いは何ですか？



保護猫活動支援に全力 

共に叶えて参りましょう！

日野市議会議員 奥野りん子

市民と共に実現しました

「18 歳までの医療費の無料化」や「学校給食の無償化」「補聴器への助成」等は、奥野りん子も要求してきた事ですが、基本的には、都が予算化した事に伴い実現した施策です。奥野りん子は、自分自身が先頭切って頑張り、「日野市に予算化させた施策」のみ、紹介するようにしています。

- 大坂上都営住宅前にミニバスを通す
- 日野第一中学校の建て替え
- スケートボード練習場の確保
- 日野駅から大坂西駐輪場までの歩道の拡幅
- 視覚障がい者の同行援護 50 時間に拡大
- 元副市長を逮捕に追い込み 4 億円を返還させる

財源論について 「貯金が 65 億円あるから財源はある」は無責任！

65 億円は、税収は上向きではない中、財政非常事態と言って市民サービスを切り詰め、一時的に溜まった額です。「経常経費の財源」として「貯金」を一律にバラまいた場合、すぐにそこを突いてしまいます。



右枠内は、次の四年間の重点政策です

市民と共に実現します

- 低所得者を対象としたクーラー・ヒーター代への補助
- 老朽校舎の建て替えを促進し、市内業者への発注を増やす
- 体験農園、しゃべり場、遊び場・・・無料の居場所づくり
- 日野市が「介護公社」を設立し、困難家庭を引き受ける
- 保育・介護・障害福祉にあたるケアワーカーの賃上げ支援
- 百草園通りにミニバスを走らせる

「飼えなくなった猫」も保護対象に！

「高齢者が飼えなくなった猫」も、保護の対象となりました。さらに、多頭飼育崩壊を防ぐため、「公的シェルターの設置」も要望しています。

生理用品に続き、「ゴミ袋」も配布

「生理用ナプキンだけでなく、ごみ袋も配布して欲しい。」というご要望を受け、議会で取り上げた結果、公共施設で無償配布している生理用品袋の中に、ごみ袋もセットされるようになりました。